嵐山地域における観光快適度の
見える化による分散化実証事業について

平成31年3月4日

京都市産業観光局 観光MICE推進室
楢山 雅晃

背景・課題

- 京都市では，平成30年5月に「京都観光振興計画2020＋1」を取りまとめ，「市民生活と観光との調和」をより重視した取組を進めるため，観光客の時期・時間・場所の分散化や，公共交通機関等における混雑緩和に取り組んでいる。

- 外国人観光客の急激な増加等により，京都市域の一部のエリアに観光客が集中していることから，国内外の観光客の満足度の低下や，市民生活との調和が十分に図れていないことにつながっている。

＜嵐山の長辻通の様子＞

2　事業概要

目　的

- 紅葉時期の嵐山にて，観光客が訪問する日時・スポットにおける需要を予測し，「快適に観光できる度合」（観光快適度）の可視化を実施。

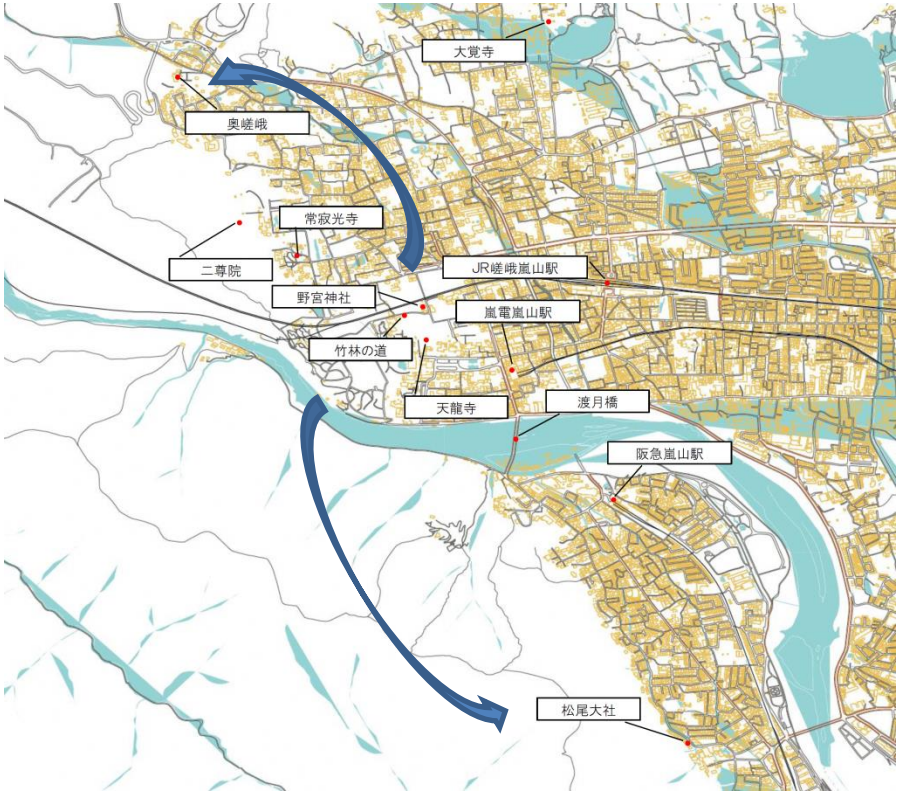
- 快適に観光できる時間帯での訪問や周辺エリアへの回遊を促すなど，観光需要をマネジメントし，観光客の満足度向上，住民生活と観光との調和を図る。

事業実施期間

平成30年11月10日～平成30年12月17日

事業実施体制

- 事業実施　国土交通省近畿運輸局
- 事業連携　京都市
  （公社）京都市観光協会



取組方法

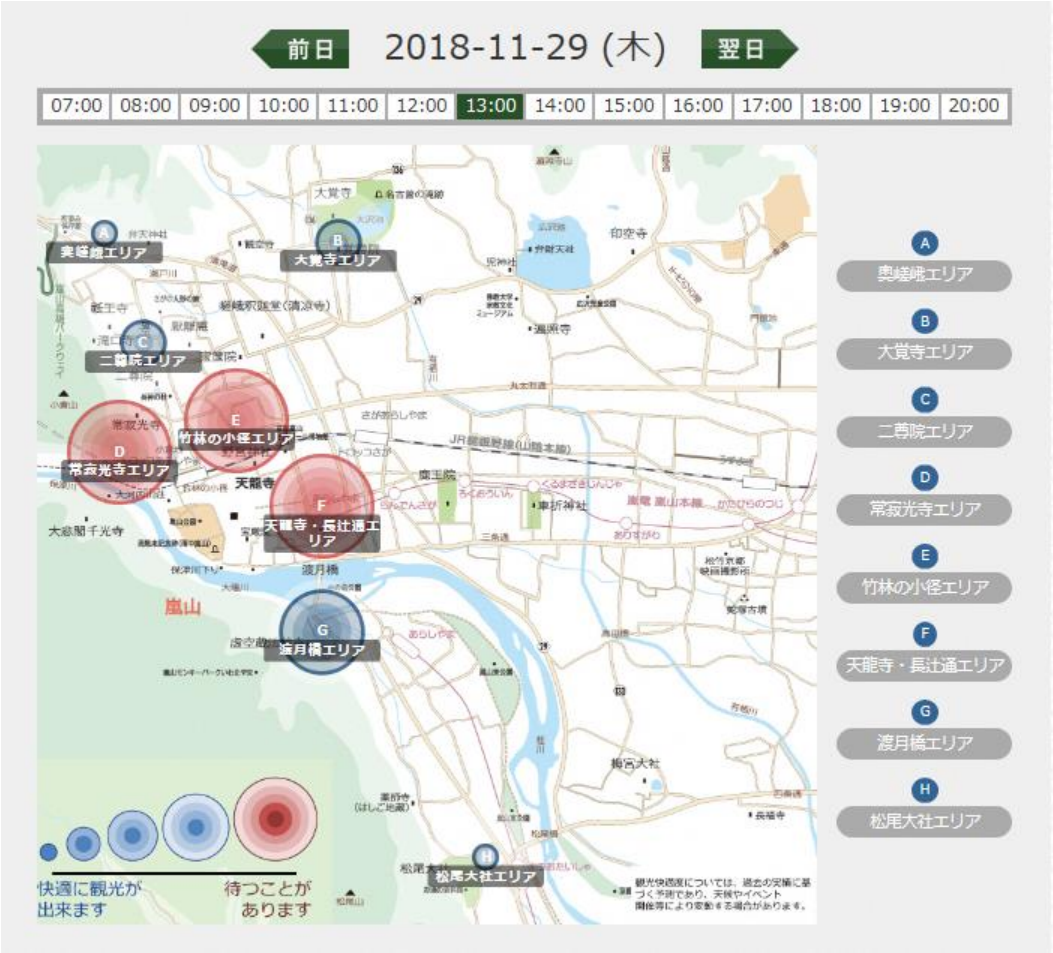
- スマートフォン等のWi-Fi アクセスデータを活用し，特定の日時・スポットにおける観光客の「量」を把握することで，観光客が訪問したい日時・スポットにおける観光快適度を予測し，ウェブサイト（「嵐山快適観光ナビ」）上で観光快適度の「見える化」を行う。

- 観光快適度を踏まえたおすすめ観光ルートを示すことで，快適に観光できる時間帯での訪問や，周辺エリアへの回遊を促すなど，観光需要をマネジメントし，嵐山地域全体における観光快適度の向上につなげる。

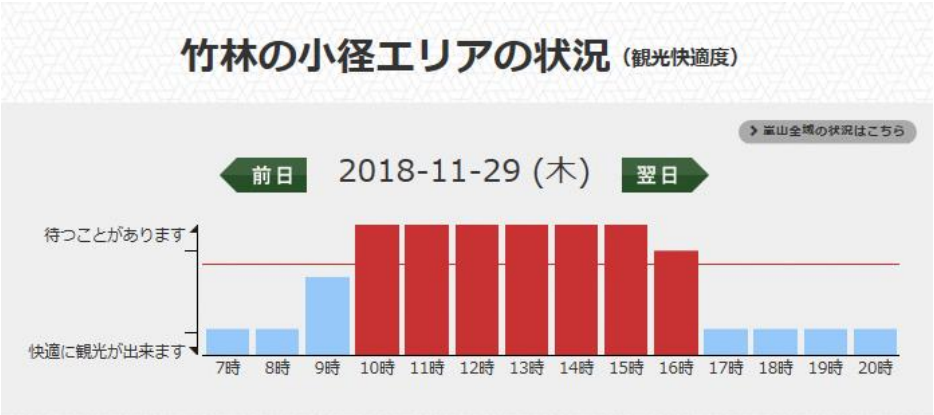
＜事業イメージ＞

4　ウェブ画面（イメージ）

＜嵐山全域の観光快適度合（混雑度合）＞



＜特定スポットの観光快適度合（混雑度合）
及び快適度合を踏まえたおすすめルート＞



取組の効果及び今後の取組

本事業の効果等（ウェブサイトの利用状況，ウェブサイト利用者の満足度，ウェブサイト利用者の嵐山地域での回遊状況等）については現在検証中

効果等について検証を行い，効果的な混雑対策につなげていく。

<嵐山花灯路：12月>

～　是非お越しください　～

<東山花灯路：3月8日～3月17日　開催予定>